

一般質問通告書

【第67回定例会】

多可町議会議員 河崎 一 様

多可町議会議員 大山由郎 

| 受 領 日 | 番号 |
|------------------------------|----|
| 平成27年 11月 27日 午前・午後 8時30分 | 1 |

| 質問の項目及び要旨 | 答弁を求める者 |
|----------------------------|-----------|
| 1. 子どもを守るための「大人の安全教育」を徹底せよ | 町長 教育長 |
| 別紙にて | |
| 2. | |
| 3. | |

子どもを守るために、特に「地域ぐるみの安全体制」、「大人の安全教育」が重要だ。

安全教育は、子どもが主体となるが、大人も共に学び両者が一緒に力を合わせ創造する共同作業だ。子どもの安全を確保するためには、子どもを守る大人の心構えと役割をしっかりと自覚しなければならない。

- ① 安全教育を進めるためには、子どもを見守る大人同士の信頼関係も重要になる。地域の見守り活動の中で、信頼関係の構築はできているか。
- ② 子どもの安全を守るための大人の役割は、子どもが「しみん・あんぜん力」を身に付ける教育的サポートをすると共に、危険な場所となり得る可能性を下げる事前対応がなされなければならないが、それができているか。
- ③ 子どもの安全教育は幼児から始まっている。安全教育は学校教育というフォーマル・エディケーションの場のみで完結ではない。むしろ家庭教育が中心となって、地域や学校がそれを支えるべきだが、それができているか。
- ④ 安全教育は子どもだけが学ぶのではない。保護者、地域の人々、学校の教職員を含めた大人も学ぶのである。実際の場面で子どもの視界に映し出される危険に対し、彼、彼女たちに等身大の有効な手段を判断、選択し得る目を養っておくことが大切だ。

緊急時の備えとして、家庭で進めるべき事項を住民にどう伝えているか。